

16 介護・援助者の意向

(1) 介助・援助するにあたって、困っていること(複数回答)

介助・援助するにあたって、困っていることでは、身体障害者では「年齢的に負担が大きい」「長期的な外出ができない」「精神的な負担が大きい」が 20%を超えている。知的障害者、精神障害者では「精神的な負担が大きい」がそれぞれ 43.6%、28.2%みられる。

身体障害者では、「年齢的に負担が大きい」が 24.3%と最も多く、次いで「長期的な外出ができない」(24.2%)、「精神的な負担が大きい」(21.6%)、「身体的な負担が大きい」(18.4%)である。

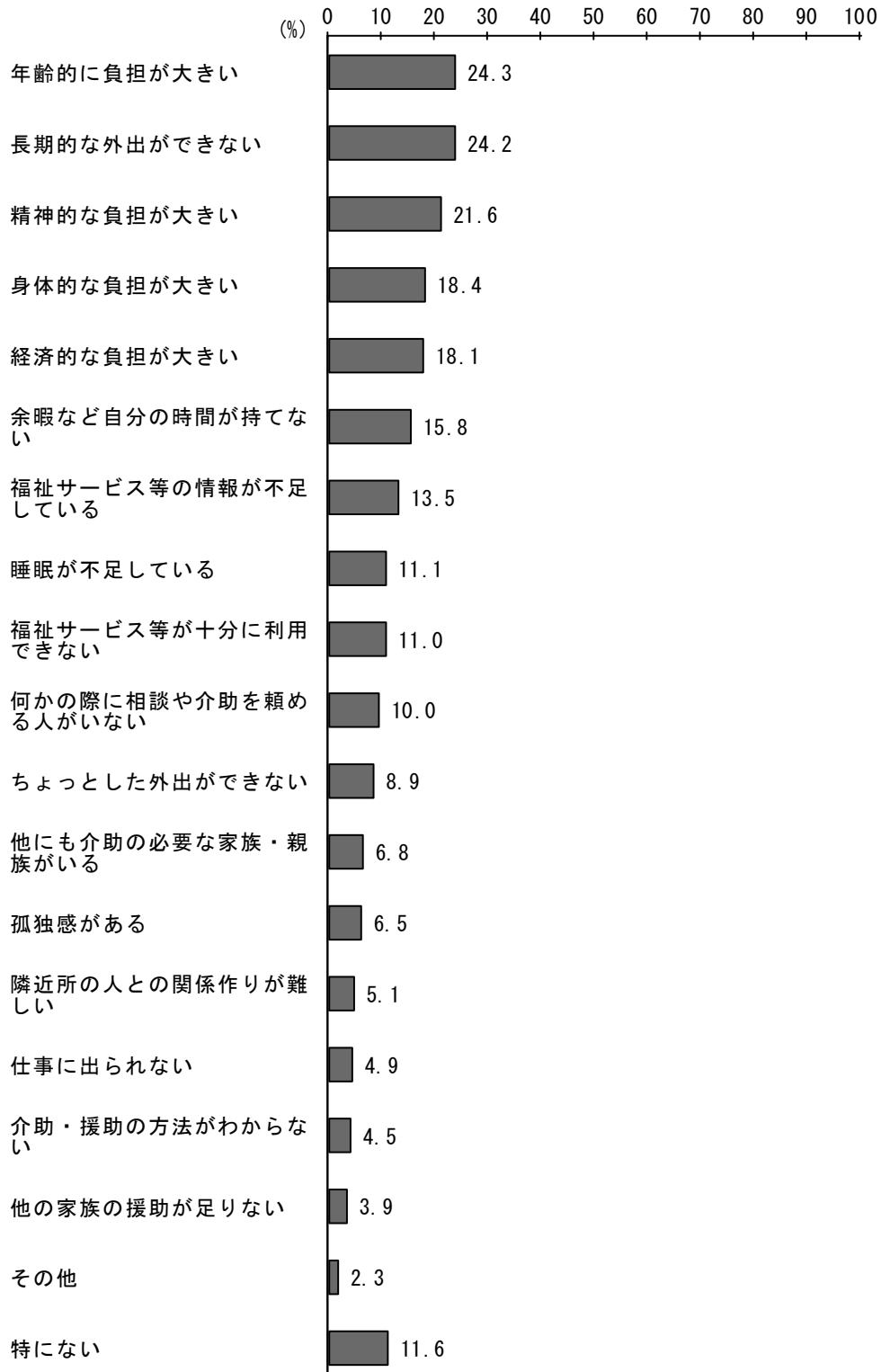
介助・援助するにあたって、困っていることについて、障害の程度別にみると、重度(1・2級)では、「長期的な外出ができない」が最も多くなっており、また、軽度(5・6級)では、「福祉サービス等の情報が不足している」、「福祉サービス等が十分に利用できない」が多い傾向にある。

主な障害の種類別にみると、視覚障害、聴覚障害の方の介助・援助者では、「精神的な負担が大きい」が最も多く、肢体不自由(上肢、下肢)の方の介助・援助者では、「年齢的に負担が大きい」、内部障害の方の介助・援助者では、「長期的な外出ができない」が最も多い。

主な介助・援助者(最も長い介助・援助者)別でみると、配偶者や兄弟・姉妹では、「年齢的に負担が大きい」が最も多く、息子・娘や父・母では、「長期的な外出ができない」が最も多くなっている。

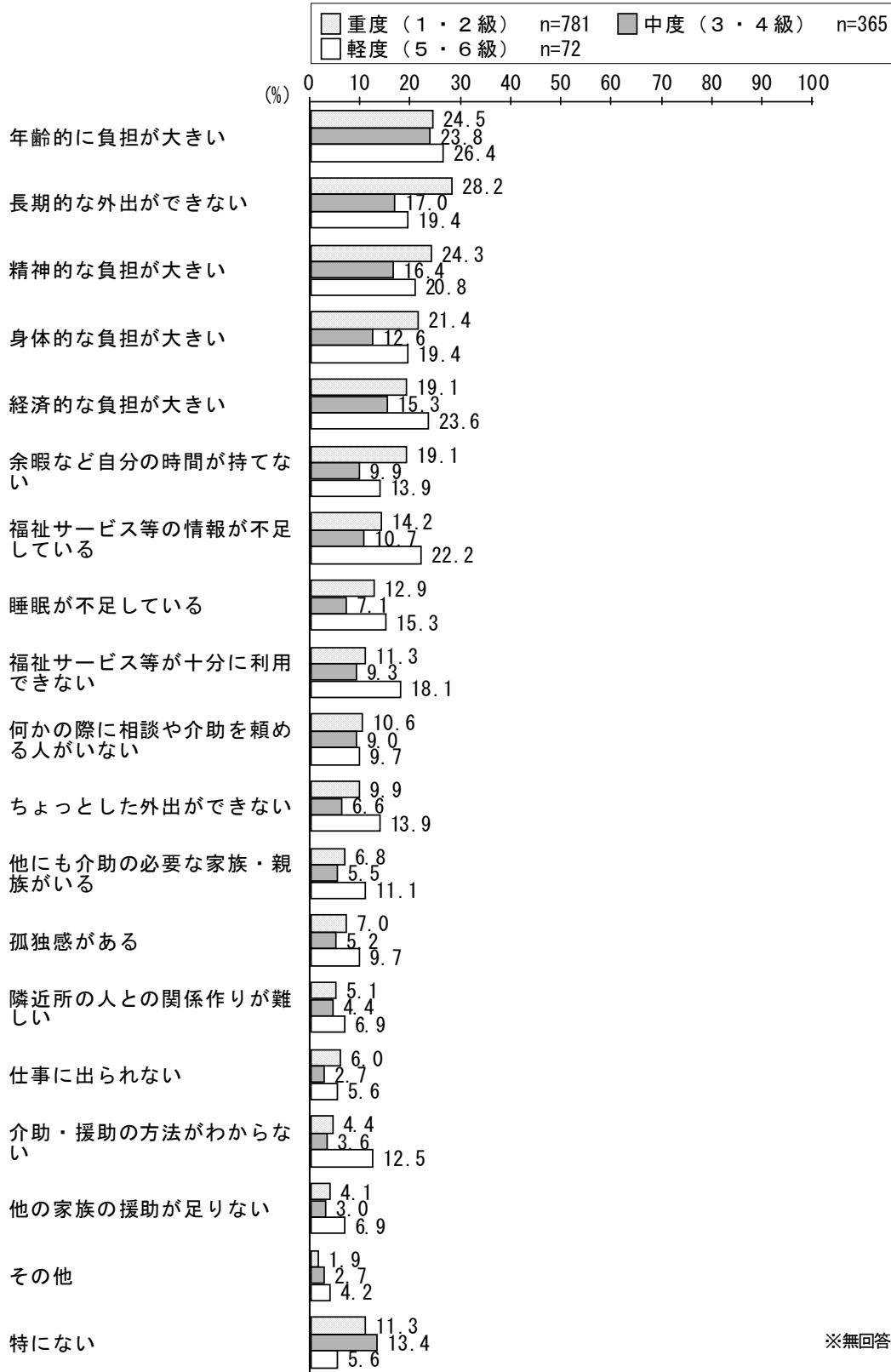
介助・援助者が困っていること【ベース:介助・援助を受けている人】

【身体障害者】全体 n=1,242



※無回答は省略

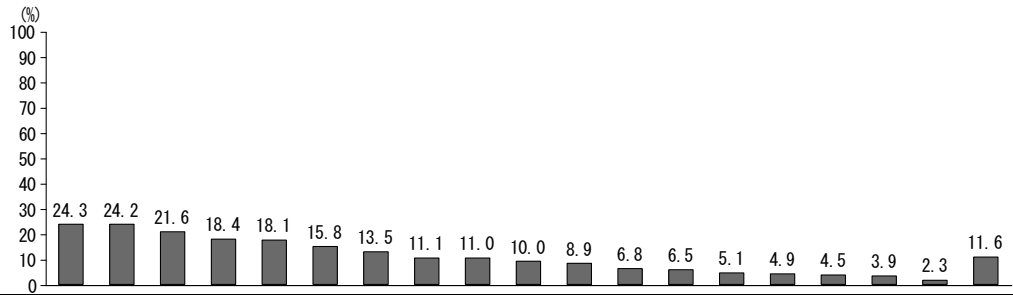
介護・援助者が困っていること【ベース: 介護・援助を受けている人】



※無回答は省略

介助・援助者が困っていること【ベース: 介助・援助を受けている人】

【身体障害者】 全体 n=1,242



問7 障害者手帳に記載された障害の種類 1番目	n	10	7	12	9	13	4	2	8	3	17	5	14	11	16	6	1	15	18	19
		年齢的に負担が大きい	長期的な外出ができない	精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	余暇など自分の時間が持てない	福祉サービス等の情報が不足している	睡眠が不足している	福祉サービス等が十分に利用できない	何かの際に相談や介助を頼める人がいない	ちょっとした外出ができない	他にも介助の必要な家族・親族がいる	孤独感がある	隣近所の人との関係作りが難しい	仕事に出られない	介助・援助の方法がわからない	他の家族の援助が足りない	その他	特にない
0 全体	1,242	24.3	24.2	21.6	18.4	18.1	15.8	13.5	11.1	11.0	10.0	8.9	6.8	6.5	5.1	4.9	4.5	3.9	2.3	11.6
1 視覚障害	93	18.3	18.3	19.4	9.7	15.1	10.8	14.0	4.3	10.8	9.7	8.6	5.4	6.5	4.3	5.4	8.6	3.2	3.2	18.3
2 聴覚障害	64	18.8	18.8	21.9	10.9	10.9	7.8	15.6	6.3	12.5	7.8	4.7	12.5	6.3	9.4	4.7	9.4	7.8	1.6	7.8
3 平衡機能障害	21	28.6	23.8	19.0	9.5	23.8	14.3	4.8	9.5	9.5	9.5	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	4.8	4.8	0.0	9.5
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	33	39.4	36.4	30.3	30.3	33.3	27.3	15.2	24.2	9.1	9.1	15.2	3.0	9.1	12.1	3.0	3.0	3.0	6.1	6.1
5 肢体不自由(上肢・下肢)	489	26.2	25.6	21.9	20.0	17.0	17.8	12.7	13.3	11.9	10.8	8.8	6.7	5.9	4.7	5.5	3.7	3.5	2.0	11.5
6 肢体不自由(体幹)	161	30.4	31.7	26.7	29.8	27.3	25.5	19.9	16.8	17.4	16.8	11.8	8.1	8.1	6.8	8.1	6.2	6.8	2.5	9.3
7 内部障害	292	19.9	20.5	18.8	13.7	15.8	10.3	12.0	6.8	7.5	5.5	7.5	6.2	5.5	3.1	3.4	3.4	3.1	1.4	12.7
8 その他	34	17.6	17.6	17.6	11.8	14.7	20.6	14.7	8.8	8.8	8.8	14.7	2.9	8.8	0.0	0.0	2.9	2.9	2.9	17.6

【主な(最も長い) 介助・援助者別】

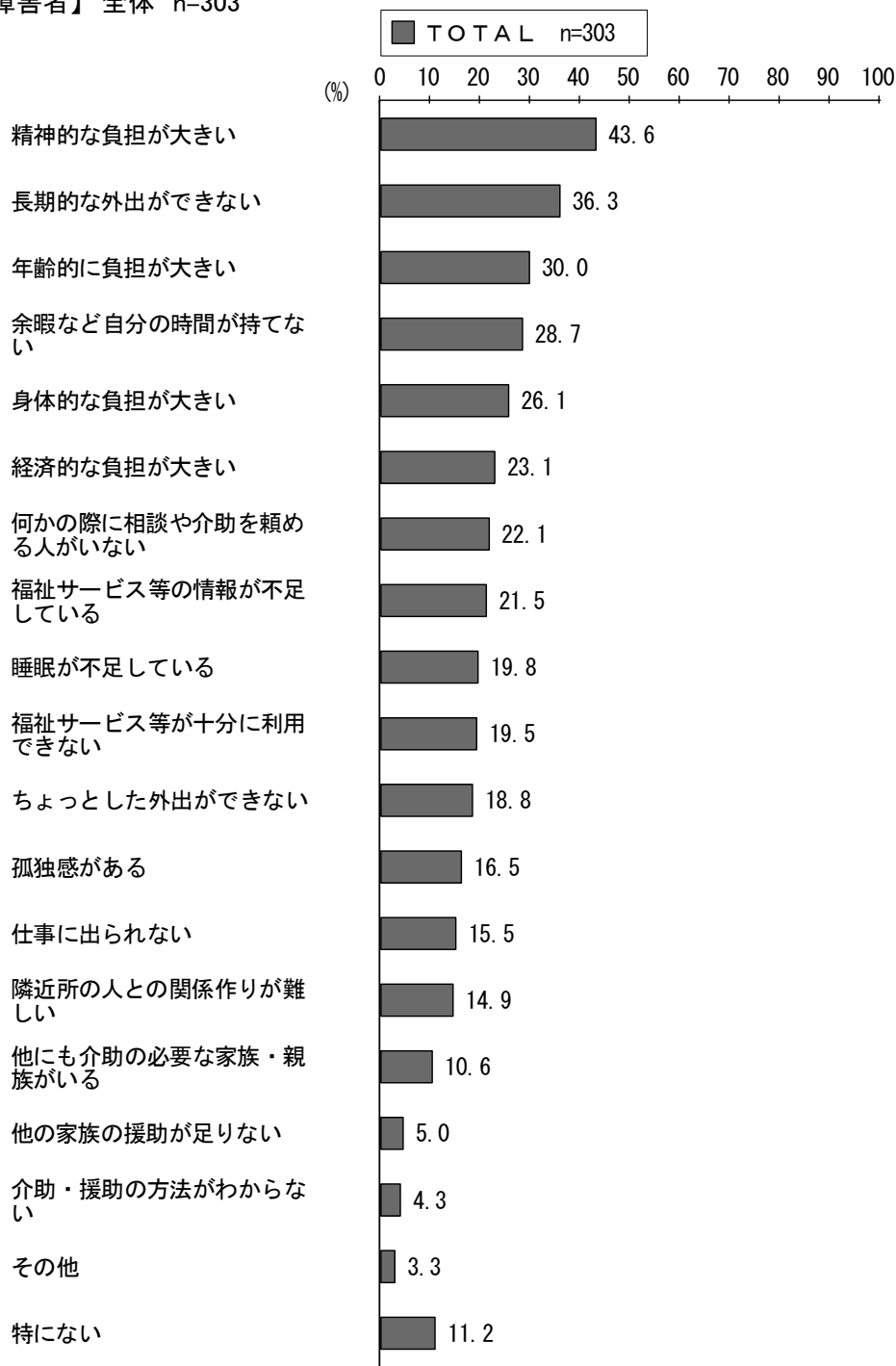
2 配偶者(夫または妻)	605	29.6	25.3	22.1	19.0	19.3	17.5	13.2	12.7	11.6	9.3	10.7	5.8	6.3	5.0	4.5	5.5	3.0	2.1	12.7
3 父、母	161	33.5	36.6	29.2	34.2	19.9	26.7	19.9	18.6	13.7	21.1	11.8	11.2	10.6	8.7	11.8	3.7	3.7	3.1	8.1
4 息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)	191	9.9	28.3	19.9	8.9	15.2	13.1	11.5	7.9	8.4	4.2	6.3	8.9	4.7	3.1	5.8	5.2	7.3	2.1	13.6
5 祖父、祖母	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
6 兄弟、姉妹	38	31.6	13.2	13.2	5.3	13.2	5.3	23.7	0.0	13.2	18.4	2.6	10.5	2.6	7.9	0.0	5.3	2.6	0.0	10.5
7 行政の職員(ワーカ―保健師等)	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 病院の職員(看護師等)	43	30.2	11.6	27.9	23.3	23.3	11.6	23.3	9.3	20.9	14.0	2.3	2.3	7.0	4.7	4.7	2.3	4.7	4.7	7.0
9 施設の職員	41	17.1	14.6	31.7	19.5	29.3	19.5	12.2	7.3	7.3	7.3	7.3	12.2	7.3	0.0	0.0	0.0	7.3	2.4	12.2
10 ホームヘルパー	105	9.5	11.4	13.3	13.3	13.3	4.8	5.7	5.7	8.6	8.6	7.6	1.9	6.7	4.8	1.0	3.8	2.9	1.9	11.4
11 その他	28	10.7	14.3	10.7	10.7	7.1	0.0	14.3	10.7	7.1	3.6	3.6	0.0	3.6	7.1	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6

知的障害者では、「精神的な負担が大きい」が43.6%と最も多く、次いで「長期的な外出ができない」(36.3%)、「年齢的に負担が大きい」(30.0%)、「余暇など自分の時間が持てない」(28.7%)と続いている。

障害の程度別でみると、程度が重いほど、介助・援助者の負担感が大きい傾向がある。また、最重度・重度(1・2度)では、「精神的な負担が大きい」、「長期的な外出ができない」が5割を超えている。

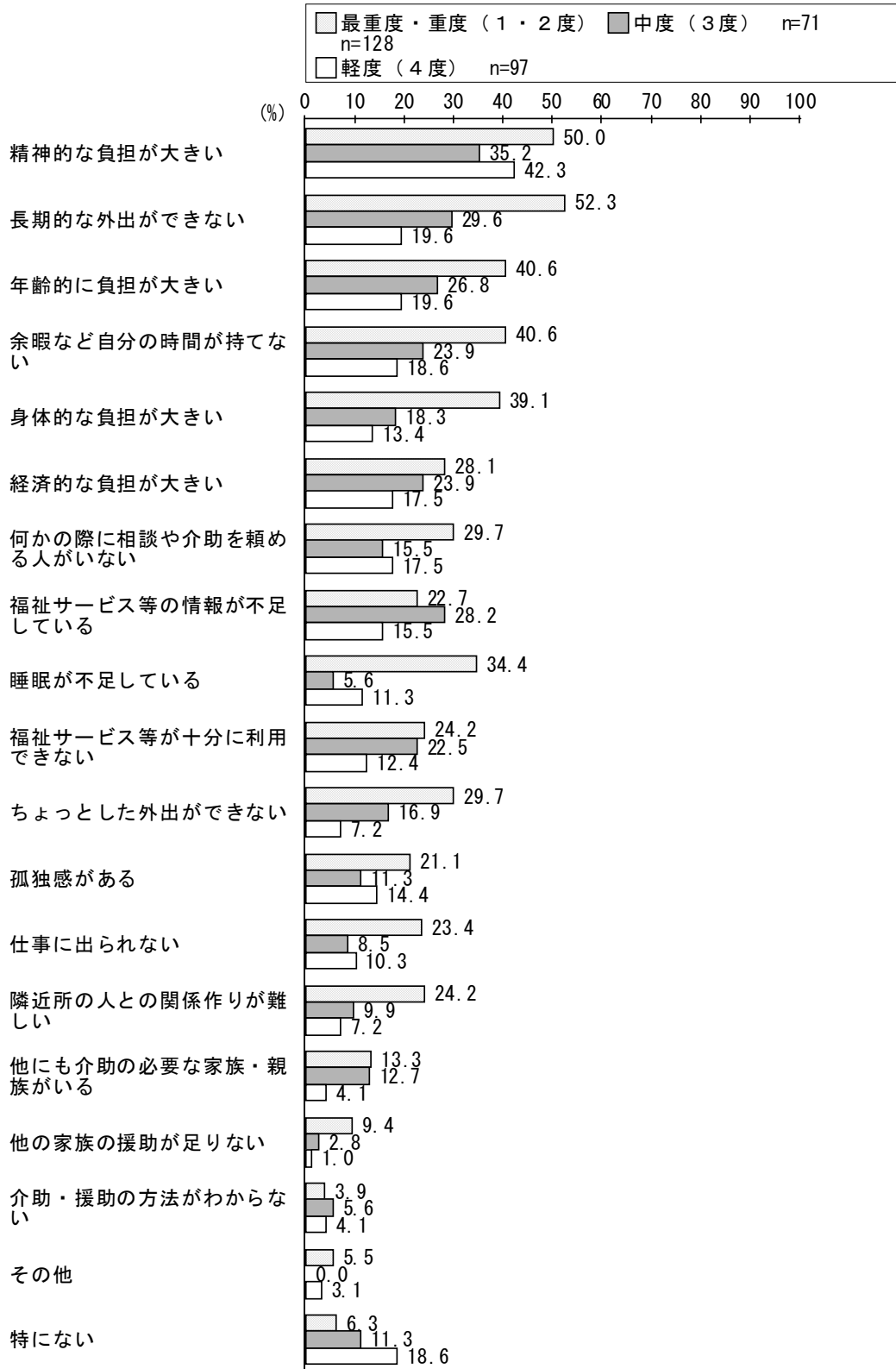
介助・援助者が困っていること【ベース:介助・援助を受けている人】

【知的障害者】全体 n=303



※無回答は省略

介護・援助者が困っていること【ベース:介護・援助を受けている人】



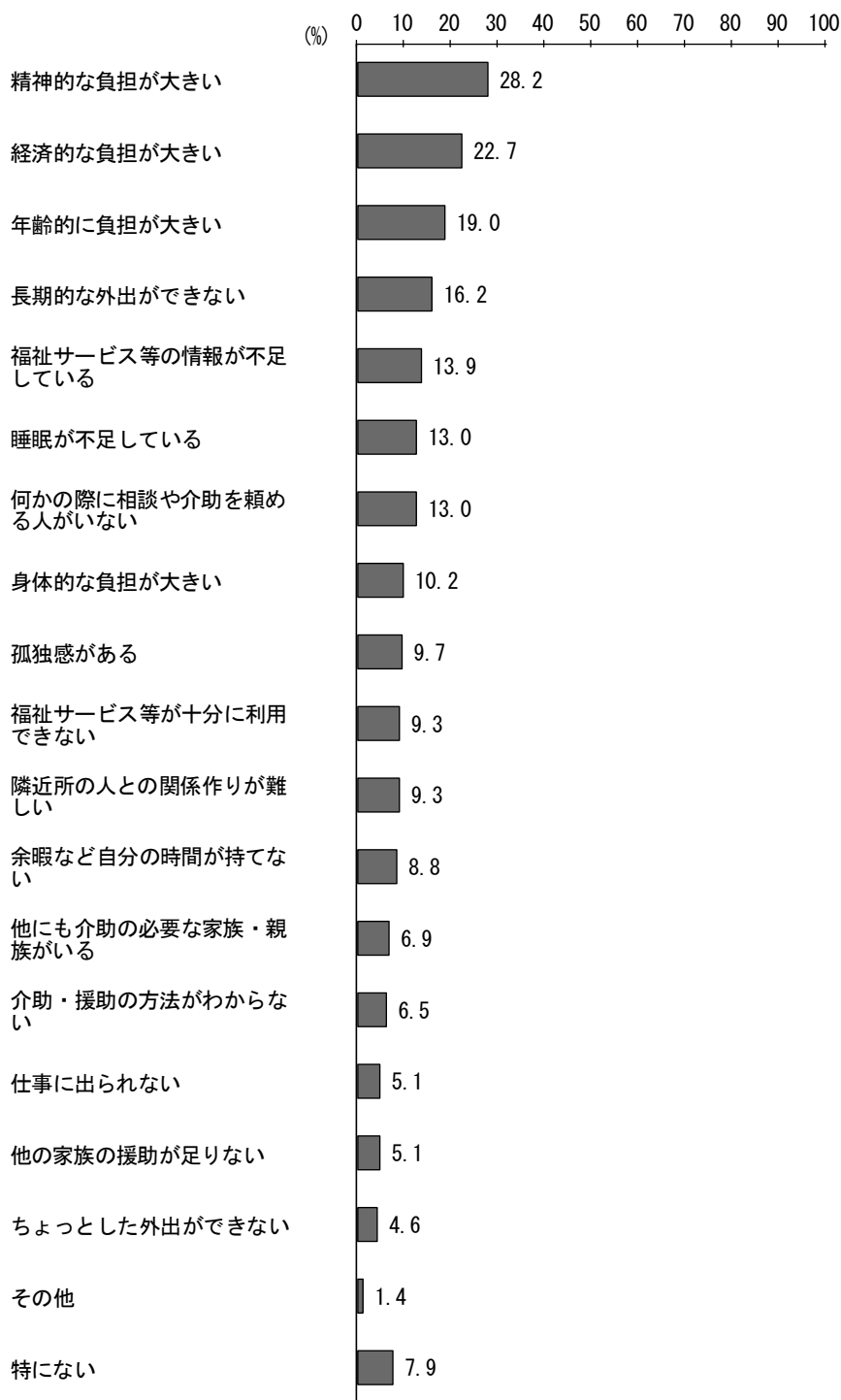
※無回答は省略

精神障害者では、「精神的な負担が大きい」が28.2%と最も多く、次いで「経済的な負担が大きい」(22.7%)、「年齢的に負担が大きい」(19.0%)、「長期的な外出ができない」(16.2%)と続いている。

障害の程度別でみると、3級では、「経済的な負担が大きい」が最も多くなっている。

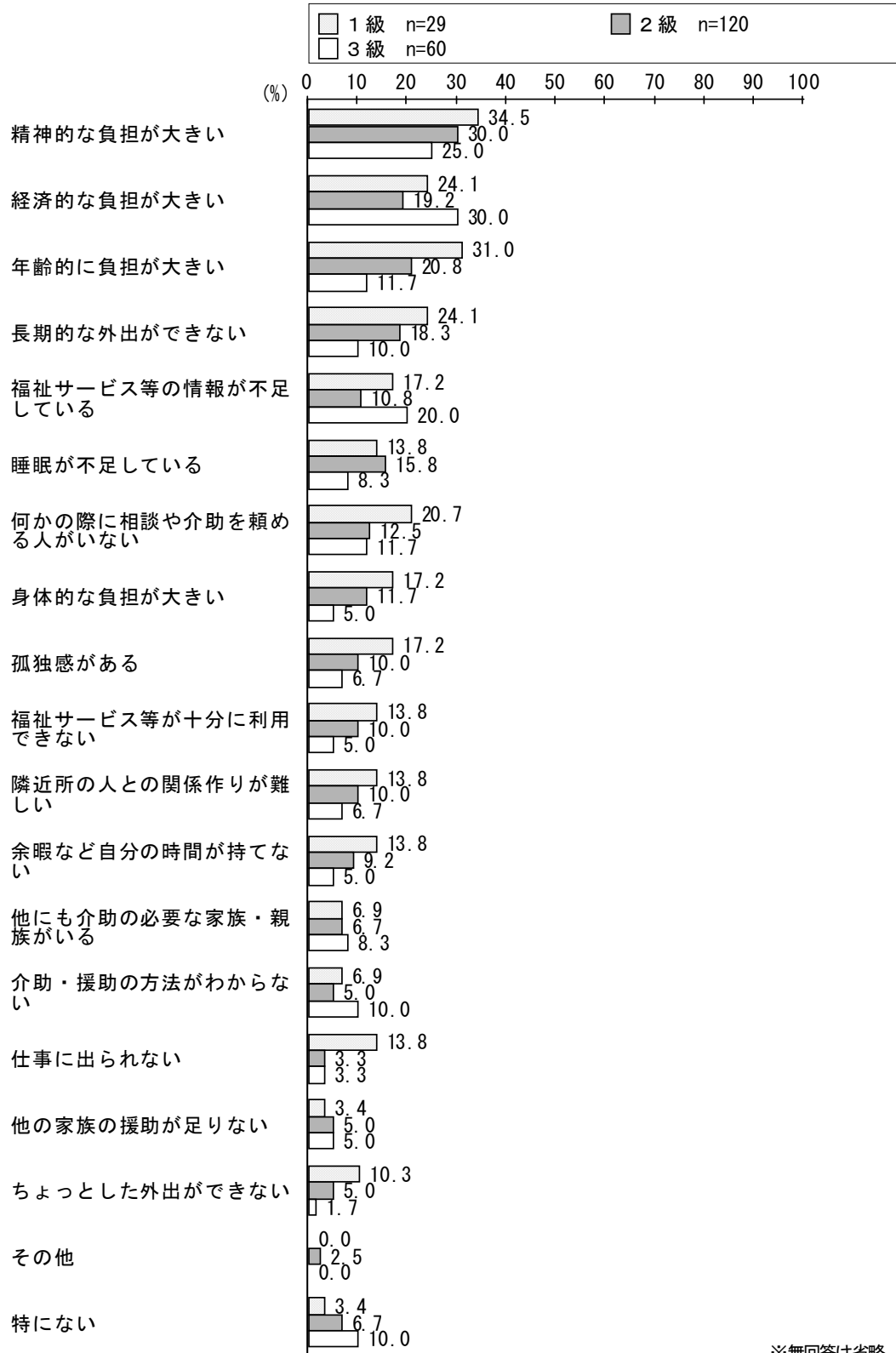
介助・援助者が困っていること【ベース:介助・援助を受けている人】

【精神障害者】全体 n=216



※無回答は省略

介助・援助者が困っていること【ベース:介助・援助を受けている人】



※無回答は省略

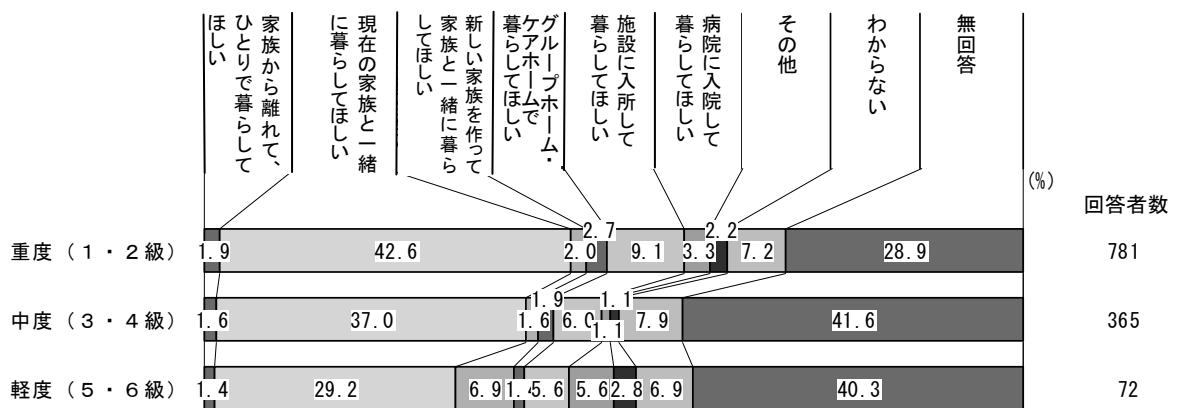
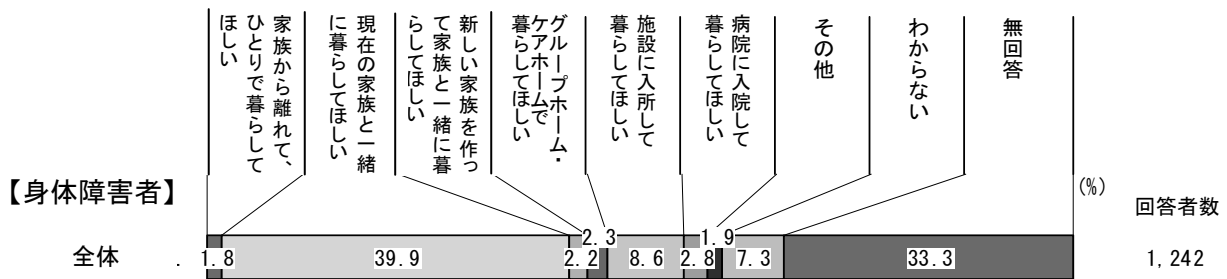
(2) 将来、本人に暮らしてほしい場所

介助・援助者が本人に将来、どのように暮らしてほしいかを聞いたところ、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が身体障害者では 39.9%、知的障害者では 27.7%、精神障害者では 28.2%となっている。

身体障害者では、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が 39.9%と最も多く、次いで「施設に入所して暮らしてほしい」(8.6%)である。

障害の程度別でみると、障害の程度が重いほど、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」と「施設に入所して暮らしてほしい」が多くなる傾向がみられる。

介助・援助者から本人の将来の居住場所について【ベース:介助・援助を受けている人】



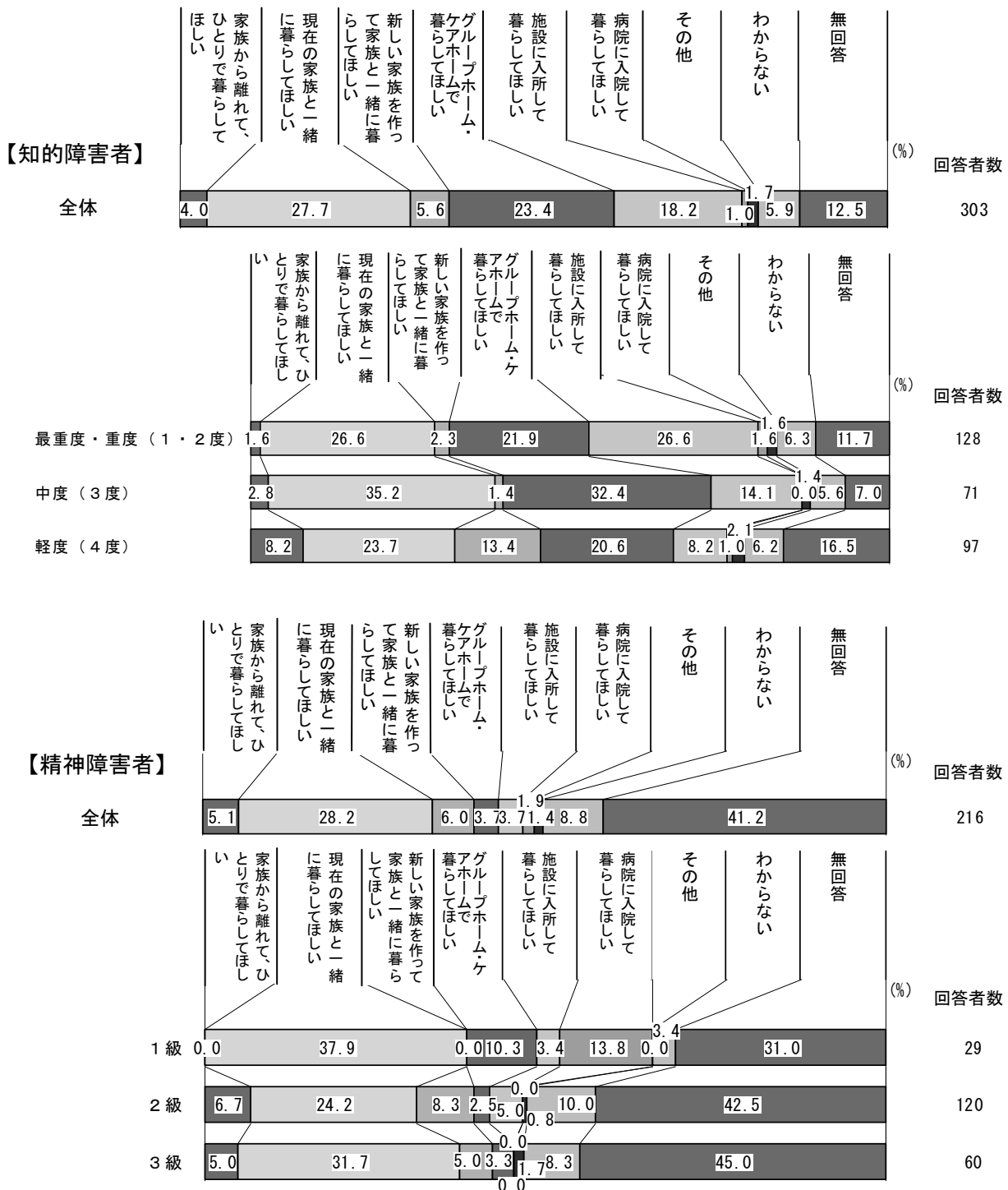
知的障害者では、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が27.7%と最も多く、次いで「グループホーム・ケアホームで暮らしてほしい」(23.4%)、「施設に入所して暮らしてほしい」(18.2%)である。

障害の程度別で見ると、障害の程度が重いほど、「施設に入所して暮らしてほしい」が多く、特に最重度・重度(1・2度)では「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」と同程度である。

精神障害者では、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が28.2%と最も多く、次いで「わからない」(8.8%)である。

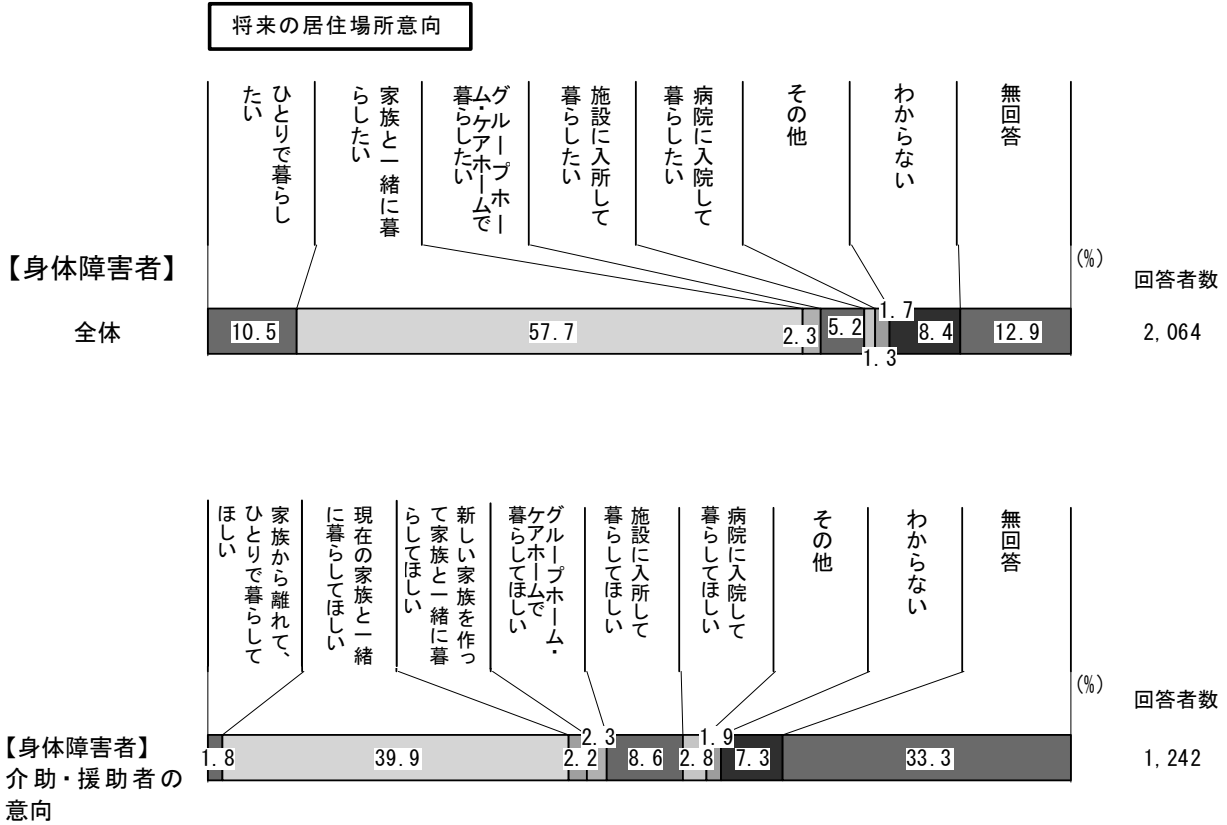
障害の程度別で見ると、1級では「病院に入院して暮らしてほしい」がやや多い。

介助・援助者から本人の将来の居住地について【ベース:介助・援助を受けている人】



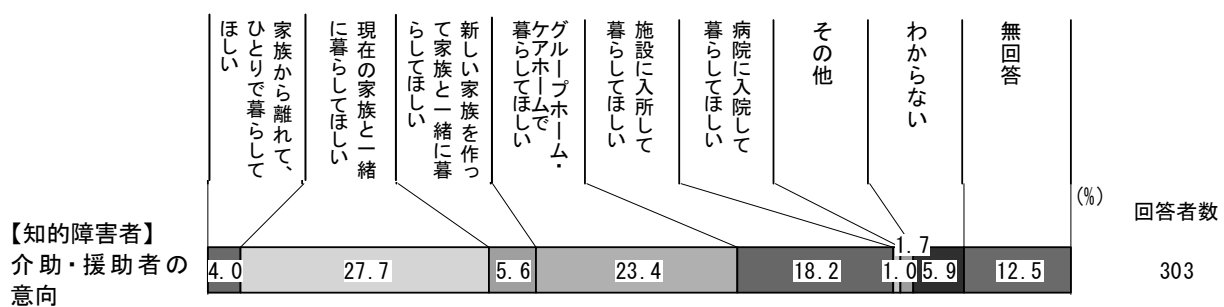
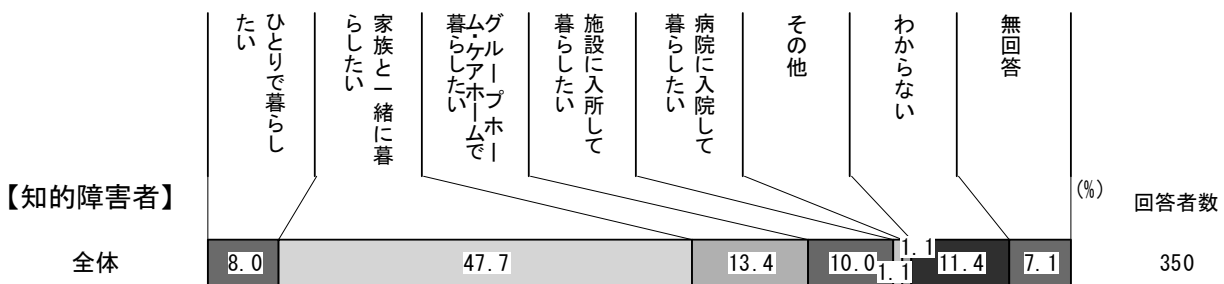
本人の意向と、介助者の意向との比較

身体障害者では、将来の居住場所についての意向を、本人と介助・援助者で比較すると、「家族と一緒に」が本人は57.7%に対し、介助・援助者では、「現在の家族と」が39.9%、「新しい家族と」が2.2%である。「ひとりで暮らす」ことについては本人は10.5%に対し、介助・援助者では1.8%と低い一方、「施設に入所」は本人は5.2%に対し、介助・援助者では8.6%である。



知的障害者では、将来の居住場所についての意向を、本人と介助・援助者で比較すると、「家族と一緒に暮らしたい」が本人は 47.7%に対し、介助・援助者では、「現在の家族と暮らしてほしい」が 27.7%、「新しい家族を作って一緒に暮らしてほしい」が 5.6%である。「施設に入所」は本人意向 10.0%に対し、介助・援助者では 18.2%である。

将来の居住場所意向

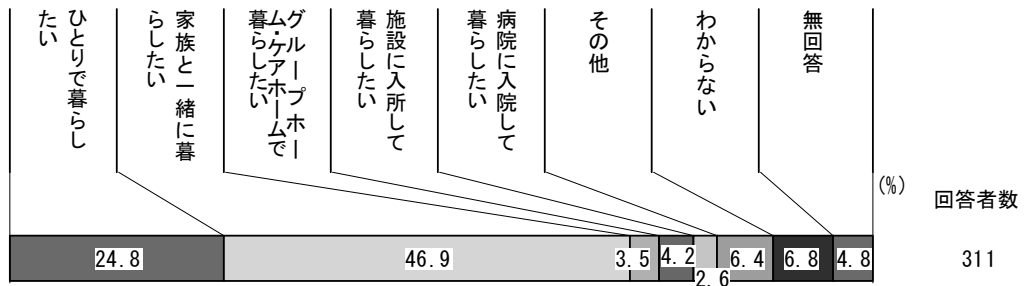


精神障害者では、将来の居住場所についての意向を、本人と介助・援助者で比較すると、「家族と一緒に暮らしたい」が本人は 46.9%に対し、介助・援助者では、「現在の家族と暮らしてほしい」が 28.2%、「新しい家族を作って一緒に暮らしてほしい」が 6.0%である。「ひとりで暮らしたい」は本人は 24.8%に対し、介助・援助者では 5.1%と低い。

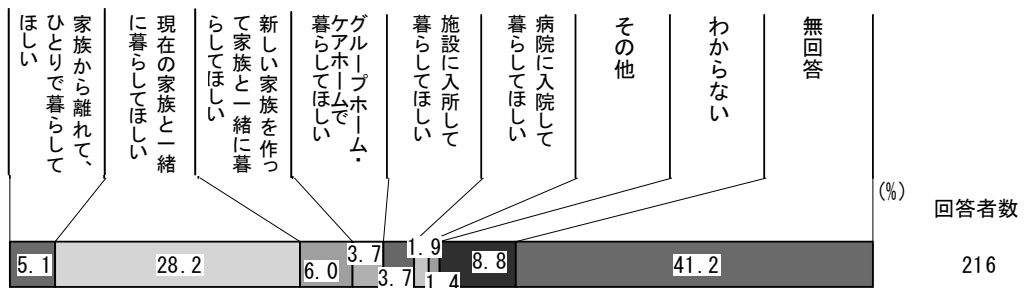
将来の居住場所意向

【精神障害者】

全体



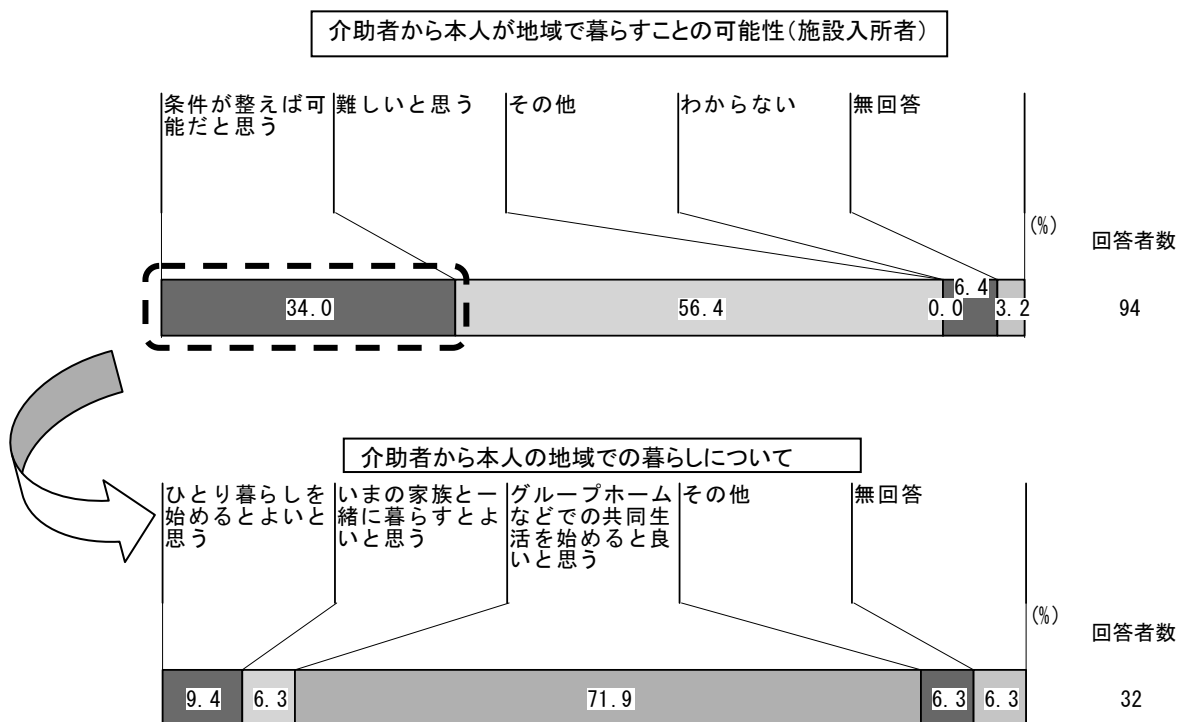
【精神障害者】
介助・援助者の意向



(3) 地域で暮らすことの可能性（施設入所者のみ）

介助・援助者が本人に将来、どのように暮らしてほしいかを聞いたところ、施設入所者では、「条件が整えば地域で暮らすことが可能」は34.0%、「難しいと思う」が56.4%である。

「条件が整えば(地域で暮らすことが)可能だと思う」方の、地域での暮らし方としては、「グループホームなどでの共同生活を始めると良いと思う」が71.9%と多数を占めている。

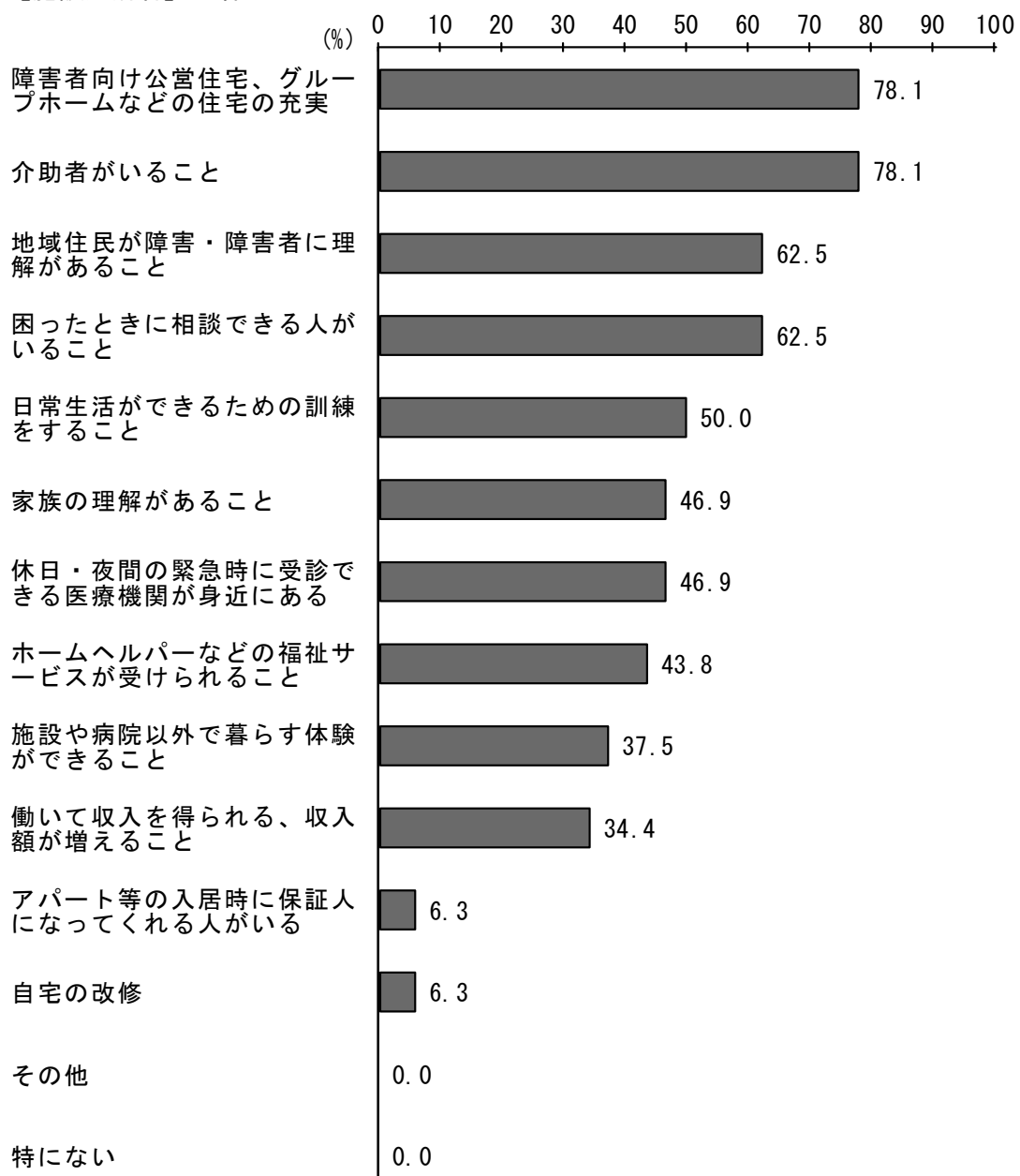


(4) 地域で暮らすための支援や環境（施設入所者のみ）（複数回答）

「条件が整えば、施設を出て、地域で暮らすことが可能」と回答した介助・援助者に、地域で暮らすことを可能にするための支援や環境として必要なことを聞いたところ、地域で暮らすまでの課題としては、「障害者向け公営住宅、グループホーム、ケアホーム等の住宅の充実」、「介助者がいること」が78.1%とともに最も高く、次いで「地域住民が障害・障害者に理解があること」、「困ったときに相談できる人がいること」（ともに62.5%）と高くなっている。

地域で暮らすために必要な支援・環境【ベース:本人が地域で暮らすことが可能】

【施設入所者】 全体 n=32



※無回答は省略

施設入所者について、「今後、施設を出て、地域で暮らすことが難しいと思う」理由(問33)(自由回答)としては、

- ・ 障害が重複しており、支援の専門性が必要となるから
- ・ 障害の程度や病気を考えるとむずかしい
- ・ 常に支援者がいなければ生活を送ることが困難
- ・ 高齢の為、また本人はそれを望んでいないように思われる
- ・ 本人の生活能力や家族意見からすると、施設で過ごすことが望ましいと思う

といった意見があげられている。

(5) 介助・援助者の意向（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・訪問による相談支援を充実してほしい。
- ・土日の相談先を確保してほしい。
- ・障害に応じた資料提供(点字等)をしてほしい。
- ・福祉情報を総合的に、インターネットで案内・紹介してくれるシステムを整備してほしい。
- ・福祉タクシー券や福祉手当を拡充してほしい。
- ・リハビリサービスを、質・量ともに充実させてほしい。
- ・障害種別に応じたサービスを充実させてほしい。
- ・配食サービスを充実させてほしい。
- ・ショートステイ(医療的ケアも可能)を充実させてほしい。
- ・必要なときにヘルパーが駆けつけてきてほしい。
- ・特別支援学級を、より細かく障害別に分けてほしい。
- ・障害理解が進むような取り組みを充実させてほしい。
- ・介助をしている家族にも経済的支援をしてほしい。
- ・サービス利用の際、自己負担金を軽減してほしい。
- ・障害者用老人ホームを開設してほしい。
- ・施設における食事メニューを充実させてほしい。
- ・家族がいる方は家族がもう少し支援をするべき。
- ・アンケートは障害別ではなく、世代別にわけて実施したほうがよい。

【知的障害者】

- ・施設サービスを充実させてほしい。
- ・施設への通所に移動支援を認めてほしい。
- ・緊急一時保護事業を充実してほしい。
- ・社会全体で障害児をサポートしてほしい。
- ・社会全体で障害者を見守る環境をつくってほしい。
- ・軽度知的障害児が、もっと普通学級に通級できるようにしてほしい。
- ・全ての小中学校に特別支援学級を設置してほしい。
- ・家族と一緒に暮らし続けることが、障害者にとって幸福であるとは必ずしも考えない。

【精神障害者】

- ・訪問相談支援を充実してほしい。
- ・入所施設を増やしてほしい。
- ・身体・知的障害と同じ水準のサービスを提供してほしい。
- ・家族支援を充実してほしい。

- ・サービス利用の際、自己負担金を軽減してほしい。
- ・アンケート内容を平易にしてほしい。
- ・障害者という認識がない方もいるので、アンケートは慎重に行ってほしい。

【施設入所者】

- ・もっと福祉サービスなどの社会資源の情報提供をしてほしい。
- ・福祉サービスなど社会資源をもっと充実させてほしい。
- ・高齢者施策としての障害者施策を充実してほしい。
- ・「なにが差別か」を明確にしてほしい。
- ・地域全体でのバリアフリーを拡充してほしい。
- ・小規模事業所でも運営できるような報酬体系にしてほしい。